

後期基本計画 令和 3年度 施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 04 持続可能な水道経営

施 策 : 01 水道経営基盤の充実

施策担当職・氏名	水道総務課 総括主査 高橋 竜也
-----------------	------------------

1. 施策の令和 3年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	水道経営基盤を充実させるため、コスト縮減による支出抑制や適正な水道料金収入による財源の確保と研修等による水道の知識技術を有する職員の育成を行い、広報活動による情報発信や経営の効率化に向けた広域連携等の情報交換体制を維持しながら、安全な水道水を持続して供給ができる経営基盤の構築を図ります。
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)	
1	暮らし 経営資本営業利益率 単 位 %	1.57	1 0.82	1 0.74	1 1.39	1 -	1 -	C 31.6	
	単 位								
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
	単 位	目標値 実績						
	単 位	目標値 実績						
	単 位	目標値 実績						
	単 位	目標値 実績						
	単 位	目標値 実績						

後期基本計画 令和 3年度 施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 04 持続可能な水道経営

施 策 : 01 水道経営基盤の充実

施策担当職・氏名 水道総務課 総括主査 高橋 竜也

2. 施策の実現に向けての令和 3年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・納付方法の多様化に関して、コード決済（スマホ決済）の導入について検討しました。 ・体験型啓発活動等については、新型コロナウイルス感染対策等のため積極的に取り組むことができませんでした。 ・料金徴収業務の委託業務評価を実施し、令和4年度からの次期業務委託における仕様等の見直しを行いました。 ・コロナ禍の中、可能な範囲で各研修にWeb等により参加をし、また、適正な人員配置を行うことにより、人材育成と組織力の強化を図りました。 ・盛岡広域ブロック検討会等において、広域連携の事業体間での情報交換体制を維持し、水道の基盤強化に取り組みました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・納付方法の多様化に関して、コード決済（スマホ決済）の導入について検討しました。 ・体験型啓発活動等については、新型コロナウイルス感染対策等のため積極的に取り組むことができませんでした。 ・各施策を達成するため、人材育成と技術が継承されるように、各種関連研修や日本水道協会の合同訓練に参加すること等により人材育成と組織力の強化を図りました。 ・広域連携について、盛岡広域ブロック検討会に参加し情報共有を図りました。 	

3. 施策の実現に向けての令和 3年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>新型コロナウイルス感染症や国際情勢の影響等による市民意識や経済情勢の変化。</p>	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 5年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>水道事業ビジョンに基づき事業を執行していくとともに、令和5年度以降の次期水道事業ビジョンの策定や、料金改定についての検討を行う必要があります。</p>	

